

# 福島第一原子力発電所

## 第二セシウム吸着装置（SARRY）自動停止について

< 参 考 資 料 >  
2 0 2 0 年 1 2 月 1 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 昨日（11月30日）午前9時7分よりセシウム吸着装置（以下、KURION）の計装品の点検を実施していたところ、同日午前10時1分、第二セシウム吸着装置（以下、SARRY）において、「工程異常」の警報が発生し、自動停止したことを免震棟集中監視室で監視していた当社社員が確認しました。
- その後、状況確認を行った結果、以下のことを確認しました。
  - ・ KURIONの計装品点検においては、KURIONで処理した水を貯留するセシウム吸着設備処理水タンクに設置している水位計に模擬信号を送り、「水位高」の警報が計画通り発生することを確認しておりますが、同警報の発生に伴い、KURIONおよびSARRYの取水元であるプロセス主建屋に設置してある油分分離装置処理水移送ポンプのインターロックが動作し、自動停止しました。
  - ・ 同ポンプの自動停止に伴い、系統が繋がっているSARRYにおいて「工程異常」の警報が発生し、自動停止しました。
- なお、自動停止後の現場確認において、設備異常や漏えいがないことを確認しています。また、SARRYが自動停止した際、第三セシウム吸着装置（SARRYⅡ）が運転可能な状態で待機しており、汚染水処理への影響は生じておりません。
- 本件の原因は、KURIONの設備図書にSARRY等の各設備との関連性が記載されておらず、SARRYの自動停止を回避する処置を講ずることができなかったことに起因していると考えており、詳細については引き続き確認してまいります。
- 暫定対策として、本日（12月1日）以降、新たに実施する作業のための安全処置について設備管理箇所と設備保守箇所で行ったうえで、作業を実施いたします。なお、KURIONの計装品点検においては、当面は汚染水処理設備（KURIONおよびSARRY、SARRYⅡ）を停止した上で、点検を行うことといたします。
- 上記暫定対策を講じたうえで、本日（12月1日）午前11時51分にSARRYの運転を再開しました。

# 【参考】 系統概略図

